

校内スケッチ

～校長室の詩～

6月13日、木曜日。今日は昨日より暑くなりそうです。5年生は、今日から一泊二日で滋賀方面へ林間学舎に向かいました。天候に恵まれ、皆、事故なく元気に、帰校することを願っています。

さて、下の詩は、校長室に飾られている額の中に書かれたものです。水色の和紙に白い流れるような行書体の文字で書かれています。

『草原』 金子みすゞ

露の草原 はだしてゆけば、

足があおあお染まるよな。 草のにおいもうつるよな。

草になるまで あるいてゆけば、 わたしのおかおはうつくしい
お花になって、さくだろう。

今回じっくりと詩を吟味しました。人間も自然の一部であること。自然への尊敬の気持ち。久しく、はだして大地を踏みしめていないことなどを思いました。みなさんはどんな感情が湧きますか。



裸足になり

心もからだも

解放す